
つくばみらい市立谷井田小学校区における意見交換会

《 平成 29 年 1 月 17 日（木）午後 7 時 00 分～ 谷井田小学校体育館 》

1. あいさつ
2. これまでの経緯について
3. 『つくばみらい市義務教育施設適正配置基本計画』について
4. 今後の進め方について

《事務局より資料の説明》

5. 質疑・ご意見等

事務局： 資料 2 で補足をさせて頂きたい。7 ページ、全体スケジュール一番下の「参考 4 今後の進め方について」について、市としては、このような形で目標をたてて話し合っ
ていこうとしたのが、去年、一昨年になってから。8 ページには、統合検討委員会、統合
準備委員会について書いているが、一番大事なのは、統合検討委員会というのは谷井田
小学校をベースに最後まで新しい学校をつかっていこうとするということ。また、谷井
田小学校を使って新たな学校をつくらうということが統合する 3 校で認められた段階で、
三島小学校、豊小学校の保護者の皆さんだけでなく、その周辺の人と話し合いを持つよ
うにする。校章や体操服、ユニフォームについても、新しい学校に移ったときは、旧学
校名の名前がついた備品ではなくなる。校章も同じく使えなくなる。そのまま使うのも
いいかもしれないが、3 校揃って新しい学校をつかっていくイメージにしたい。谷井田小
学校の名前を新しい名前にするかしないかは、今後、統合検討委員会の中で色々話し合
いを進めていくということになるだろう。

統合準備委員会では、今後、何月何日に統合するのかを具体的に検討する。例えば、
三島小学校は、統合することによって学校がなくなってしまうので閉校式などの式典が
必要になるだろう。また、新しい名前が開校するならば、谷井田小学校も廃校になるの
で、新しくなる学校に向けての儀式などをし、1 年やある程度の期間を設けて学校内部の
子ども達と先生とで別れの挨拶をし、新しく迎える為に地域の人も含め、三島小学校や
豊小学校と一緒にいるということに意識を向ける必要がある。

一緒にいる三島小学校、谷井田小学校、豊小学校では、生徒たちは、いきなり統合さ
れて違う学校になってしまうのは非常に不安と思う。子どもはもちろん、保護者も不安
と思う。その為、3 つ学校でお互い交流活動が必要になってくる。スタートとしては、
みんな交えてお互いを尊重し、話し合いを進めていかなければならない。

そして、三島小学校、豊小学校の子ども達や保護者、地域の人たちも含めて、ある程
度谷井田小学校と一緒にいこうという意識が結集された上でないとできない。3 校
が一緒にいるのが一番いいが、なかなか難しい場合がある。

例えば、三島小学校と谷井田小学校の2校で先に統合する可能性もありうる。市としては、新しい名前をつけるにしてもつけないにしてもタイミングを見計らい進めていかなくてはならない。その辺が一番難しいところだが、今現在、そういう段階でいる。統廃合については、子ども達にとって、よい環境にしてあげたいということを一番に考えている。

このような話のようなことなど、統廃合に関する不安や疑問、意見など色々あると思う。意見交換会なので、ざっくばらんに話ができたら幸いですので遠慮なくご意見を頂戴できればと思っている。

市 民： 今、お話を聞かせて頂いて統合検討委員会や三島小学校や豊小学校の学校間の交流を色々やらなければならない中で、小学校の子ども達が一つの小学校へ集まって、いじめなどないようにしながら、楽しく学校生活を送るようにしてあげることが、非常に大変な事だと感じた。思ったこととして、行政の皆さんには是非見守ってほしいと思う。谷井田小学校、豊小学校と三島小学校が一緒になるということで、PTAでも今後どうするのか等、色々心配はあった。だが、それを突然、自分たちで話し合うように言われても、実際どうしたらいいのかわからない。具体的によそのところでは、どういったことを通して統合したのか、子ども達にとって負担となることなど、そのところではどのように交流したなどわかれば良いと思う。子どもたちには、三島小学校や豊小学校を理解し尊重して、子どもたちに相手の学校をきちんと理解してもらう為に指導をしていかなければならぬ、そういった意味でどういう対応をしたか具体的に示して頂き、きめ細かい事例を知りたい。

統合委員会に対して対応する必要があるかと思うのもので、この資料2の4ページの「5. 小学校の学校再編に伴う遠距離通学への対応」についてだが、どのような交通手段で子ども達が通えるようになるのかが、皆さん一番心配されている所だと思う。安全に学校へ通えることがわかれば保護者の立場としては、ある程度の人数がいる学校にってもらって、授業も学童クラブも受けられるようにしてもらって、最低クラス替えができる、最低2クラスぐらいの学校の規模であればありがたい。安心して通えるような手段を早めにきちんと示してしてもらえればと思う。

事 務 局： これまで説明会をしてきたが、この説明会は地域全体に向けての説明会であり、保護者の皆さんが集まっての話し合いはこれからになる。

統廃合の例については、近隣の市町村では、統廃合が進んでいるので例がある。本当に子ども達にとって、学校はどういった形がいいのかなど先生方も交えてたくさん話し合ってもらいたい。

例えば、行方市。麻生町と北浦町、玉造町3つの町が一緒になり、全18校あったのが、一つの町になってからは4校になった。自分たちが慣れ親しんできた地域の中心地に学校があって、私としてはこれをずっと残したい。この気持ちはあたりまえだが、冒頭に申し上げたように、学校に通っている人数が非常に少なすぎる。40人、50人の学校では、小学校時代に経験しなくてはならないことを経験しないで、必要な授業や行事もできないで大人になってしまう。どうせ中学校で一緒になるからいいじゃないかという

意見もあるが、そういう問題ではない。私も色々な学校を教員時代に経験し、小さい学校も大きい学校もいろいろ見てきたが、授業を進めるのに適当な人数は30人、40人。なので、谷井田小学校とか板橋小学校とか、人数がいる学校は今のままでいいじゃないかと思うかもわからないが、対象になっている学校の子供達はみんな同じ市に住んでいる子供達。そういった子供達のこととも考えていって頂きたい。

事務局： 時期になったら統合検討委員会というのを発足し、代表者に集ってもらった上で、PTAの目標を話し合ってもらいたいと思う。阿見町では、廃校になるところと統合する小学校が互いの学校の歴史や伝統を学んだりして交流をしている。いままでの学校の歴史を振り返ってもらおうとか、「おもいでいっぱいミュージアム」といった名前の展示をしたりして子供達と交流している。いまでも色々やっている方もいると思うが、もっと積極的にやっていく必要がある。まだ先が見えている段階ではないので、もうしばらく時間を頂く必要があるかなと思っている。

スクールバスについては、もちろん安全安心で通って頂きたいと思っている。今後とも、三島小学校と豊小学校の人たちにとっては、学校がなくなってしまうということなので、できる限り三島小学校や豊小学校と話し合いの場を設けながら、意見交換をしていきたいと考えている。

市民： 今日の集まりを見てもらったらわかると思うが、今後の開催予定を改めて考えてほしいと思う。少なくとも、統合される三島小学校と豊小学校の保護者の皆さまと地域の皆さまに向けては、学校では一回説明会をしてくれたとなるが、このような状況では、保護者の方は説明を聞いてないという反応になる。したがって、今日の集まり方を含めて統合される予定の2校の保護者を含めて説明会を考えていく必要があると思う。

もうひとつは、統合準備委員会に入った段階で問題が山積みだと思うが、どんなタイミングで統合するのかしないのかを決定するのか伺いたい。例えば、最初に、板橋小学校と東小学校の統廃合予定が平成31年だが、統合委員会として統合と決定してそれを指揮するのどれくらい時間がかかるのかご説明頂きたい。

事務局： 新しい学校ができるということを皆さんにお知らせしなければいけないと思う。今は地区全体を対象としているが、保護者や未就学児の保護者の方々を集めて説明をしていきたい。どの段階で決定するのかについては、まずは、問題を解決していくことが大事と思う。課題は必ず解決しなければならない。課題を解決しなければ、またどのように進めていくのかを話し合わなければ、進められないと思う。ある程度解決した段階で統廃合を決定するタイミングになるだろう。

市民： ありがとうございます。もう一つ。事務局から話があったと思うが、統合したあと、廃校になる学校の施設を有効利用していかなくてはいけないと思うが、統廃合の問題と同時に進めるのか、ある程度統廃合が決まった段階で施設の利用、活用を進めていくのか。学校教育課を含めて教育委員会のマンパワーだけで、進めていくのは少し無理なのかなと私は思う。それも含め、ご意見があればお願いしたい。

事務局： もちろん、跡地利用については、後でやるわけにはいかないと考えている。やはり、先ほど教育長も言うておられたが、地区の中心部に学校があったわけなので、その中心部の学校が廃校になってしまうと、なおさら落ち込んでしまう。そうなる、統廃合の話合いまで進まなくなる。方針を決めて具体化していかなければならない。統廃合したあとで施設利用を考えると、1年や2年の間に雑草が生えてきてそのままでは使えないという状態になってはいけない。跡地利用については、市の中でも議論していかなければならない。ある程度、統合に関する話し合いが煮詰まってきた段階で、どうするか案を考え提示して、皆さんに聞きながら進めていきたいと考えている。

市民： 私は、今の学校に通う子どもの保護者ではなく、過去にPTAだった者である。この学校は受け入れ側になるだろうから、特に保護者の皆さん方から反対というのは少ないのかなと思う。その中でも、情報が一番大事だと思う。細かい事で言うと体操服の事など話にあがっていたが、新入生ばかりが入ってくるわけではない。そういうことを申し上げられたのではないかと思う。そのような細かいことが心配だと思うので、どうなるか経過などの細かい情報は、より多く、早く、出してもらいたい。今日はつくばみらい市谷井田小学校区における意見交換会とのことだから、谷井田小学校ということは、今度統廃合される三島小学校、豊小学校も含まれるということ。谷井田小学校の保護者の方には、意見交換会のお知らせのようなものは出したのだろうか。

事務局： 周知方法については、できるだけ多くの人が参加できるように改善していきたい。

市民： お手紙は、いってないということで、そういった広報だけの宣伝になると結果、このような状態になってしまう。やはりそれぞれの学校のPTAには、学校やそれぞれが話して統合について伝えるのが大事だ。また、三島小学校や豊小学校に連絡してあげないとお互いの為にならないのではないかと思う。

事務局： おっしゃる通り広報不足であったと認識している。今後は、今現在の話し合いの内容や質問等を必ずホームページにアップし、皆さんにお知らせしていきたいと思っている。

市民： 紙で連絡するのが最低限必要。紙だと後に残るので、良いと思う。

市民： 谷井田小学校の児童クラブを担当している。今日、保護者の方に今日体育館で何をしているのか聞かれて、情報の提供ができていないと感じた。

近隣なので、三島小学校も豊小学校の児童クラブも行くが、子ども達が保育所から小学校に上がるときに離れしてしまうという状況がある。なので、この統合により、そのまま一緒に小学校に通えるようになるのは少しメリットと感じた。一方で統合となった場合は、保護者の方が学童に迎えにくるのに、近くなる場合もあるが、かなり遠くなる場合がある。また、子どもの立場で考えた時に、それぞれ統合前の学校で過ごす年数と統合後の新しい学校で過ごす年数によっては、最後1年間だけ新しい学校で過ごすことになる児童もいる。そのような子ども達の状況も理解しながら検討いただければと思う。

事務局： ご意見も踏まえ、統合にあたっての具体的な課題についても、より詳細に検討を進めていきたいと思う。

6. 閉会

事務局： それでは、本日はご出席頂きありがとうございました。以上をもちまして閉会いたします。

以上